

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 _____

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6			・必要に応じて児童を分けて支援しています。	・利用手員が指導訓練室等スペースとの関係が適切である。
	2	職員の配置数は適切である	1	5			・規定の人員配置数よりも多く配置しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			6		・2階の事業所になる為、バリアフリー化は難しく、車いすの児童が利用する場合は簡易式スロープを検討します。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している			6		・開所間もなく、試行錯誤しながらの業務改善になっています。具体的な目標設定を職員で話し合っています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6			・保護者の意向に沿えるよう業務改善を行っています。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			・ホームページ等で公開しています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1		5		・第三者による外部評価を行い、業務改善を行います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6			・研修情報を提供しています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			・アセスメントシート等を活用しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6			・えいぶるなどを活用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6			・日々話し合い等を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			・児童の発達に合わせています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6			・各児童に合わせて設定しています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			・日々、個別や集団を組み合わせて計画を作成しています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	1		・療育案を書いて、役割分担できるようにしています。	・出来な日もあるので、日々できるよう改善します。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	2		・朝、必ずミーティングを行っています。	・職員の就業時間が違う為、朝振り返りを行っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	1		・日々、記録をつけています。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			・成長とともに見直しをしています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	6			・ガイドラインに沿えるようにしています。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最もふ さわしい者が参画している	6			・児発管、児発管補佐が 参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等 の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡 調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連 絡)を適切に行っている	1	5		・保護者からの連絡や 学校アプリのスクリーンを 活用しています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場 合は、子どもの主治医等と連絡体制を整え ている		5	1		・医療的ケアが必要な児童が現在いません。児童を受け入れ る場合は連携体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認 定こども園、児童発達支援事業所等との間 で情報共有と相互理解に努めている			6		・初めて事業所を利用する児童も多く、全ての機関との情報 共有はできていないので、改善していきます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業 所から障害福祉サービス事業所等へ移行す る場合、それまでの支援内容等の情報を提 供する等している			6		・現在は、学校を卒業する児童がいません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援セ ンター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6			・研修等はその都度行っ ています。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障 がいのない子どもと活動する機会がある			6		・コロナの影響で交流する機会が持てていません。今後は、 交流が持てるよう検討します。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加 している			6		・今後は参加していきます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合 い、子どもの発達の状況や課題について共 通理解を持っている	6			・送迎時やメール等で連 絡を取り合い共通理解 を行えるようしていま す。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保 護者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている			6		・今後、保護者の負担にならない程度に行っていきます。
保護者への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につ いて丁寧な説明を行っている	6			・契約時に行っていま す。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談 に適切に応じ、必要な助言と支援を行って いる	6			・その都度行っていま す。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を 支援している	6			・令和4年11月に第1回 行っています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応 の体制を整備するとともに、子どもや保護者 に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適 切に対応している	6			・その都度対応していま す。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事 予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者 に対して発信している	6			・毎月、会報を出してい ます。	
	35	個人情報に十分注意している	6			・展示等で写真を使う場 合など必要に応じて保 護者に確認をしていま す。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎 通や情報伝達のための配慮をしている	5	1		・口頭での説明が難しい場 合は、メール等で意思疎通 ができるようになっています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地 域に開かれた事業運営を図っている			6		・コロナ渦で中々開催することが難しかったですが、今後検討 していきます。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時 等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している			6		・マニュアル等は今後保護者に周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6			・年に2回避難訓練を行っています。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している			6		・現在、身体拘束を行う児童がいません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている			6		・現在、医師の指示書に基づく対応の児童がいません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		1	・ヒヤリハットがあった時はその都度情報共有を行っています。	